

単元名

**盛りあが(阿賀)ろう!実現!原っ子のまちづくり  
～プレゼンで地域に発信!原っ子の考える未来のふるさと～**

平成28年10月3日

男子10人 女子12人

「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」(東京書籍)

計22人

本単元で育成する資質・能力

協働する力 郷土愛 (資質・能力ルーブリックレベルIV)

1 単元について

I : 【考え・基礎知識】

コミュニティデザインに関する内容を読み取る。

C : 【つながり】

読み取った内容と阿賀地区のまちづくりを結び付けて考える。

E : 【応用・ひろがり】

自分たちの考えたまちづくりについて地域に発信する。

児童の実態

- ★ 相手の意見を尊重しながら自分の意見を伝えたり、異なる意見を受け入れたりすることに課題が見られる。 -①
- ★ 地域の一員として貢献を意識して活動する経験は少ない。 -②
- 「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。」というアンケートにおいて自信をもっている児童は55%である。 -③

教材について

- まちづくりについての事例や考え方が書かれた説明文である。  
→ まちづくりについての自分の考え方を広げ、深めることができる。
- 構成が分かりやすく、資料が活用されている説明文である。  
→ 自分の考えを述べるときの構成や、どんな資料をどのように活用するのかについて参考にすることができる。
- プレゼンテーションの原稿例がある。  
→ 資料を活用した分かりやすい説明の仕方を学ぶことができる。

育成したい資質・能力と目標 ★資質・能力 ○国語科◎国語科重点目標

- ★ 異なる意見や他者の考えを受け入れながら、課題を解決することができる。【協働する力 資質・能力ルーブリック レベルIV】
- ★ 郷土の伝統と文化を大切に、地域社会の一員として貢献を意識して活動に参画することができる。【郷土愛 資質・能力ルーブリック レベルIV】
- 助言や提案をし合い、プレゼンテーションをよりよいものにしようとする。【国語への関心・意欲・態度】
- ◎ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。【話すこと・聞くこと イ】
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたんに読むことができる。【読むこと ウ】
- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(キ)】

パフォーマンス課題とその特徴

総合的な学習の時間に取り組んでいる「盛りあが(阿賀)ろう!実現!原っ子のまちづくり」と関連付けて、実生活とつながる「原小学校のある阿賀地区のまちづくりについて、自分たちの考えを地域の方にプレゼンテーションで発信する」という活動を設定する。目的や相手が明確で伝える必然性のあるプレゼンテーションづくりを通して、主体的に情報を収集し、話の構成を工夫したり資料を活用したりして適切に話す力を付けることができると考える。また、未来のまちについて、自分たちの考えをまとめていく探究的な学習過程で、本単元で付けたい資質・能力を確実に育成できると考える。

指導のポイント

- ① 学級で一本のプレゼンテーションをすることにより、グループで助言し合って改善していく活動に必然性をもたせる。「協働による整理・分析」や「専門機関等多様な他者とのかわり」の機会を多くすることで、考える視点を増やし、柔軟な考え方ができるようにする。
- ② 地域のまちづくりイベント内で実際に提案する場を設定し、まちづくりに参画する活動を通して、自分も地域の一員であるという自覚をもたせる。
- ③ 教材文で学んだ資料活用の方法を生かして、目的や必要に応じて、引用したり図解したりするなどの工夫をさせる。また、学習形態を工夫し目的をもたせた交流をさせ、助言し合うようにする。

2 単元の評価規準

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 資質・能力<br>【協働する力】<br>【郷土愛】                          | ★ 異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりして未来のまちについての考えをプレゼンテーションするという課題を解決している。<br>★ 阿賀の地域社会の一員として、貢献を意識して、まちづくりイベントを成功させるための活動に取り組んでいる。【原小学校 資質・能力ルーブリック レベルIV】 |   |   |
| 国語への関心・意欲・態度                                       | 話す・聞く能力  | 読む能力  | 言語についての知識・理解・技能                           |
| ○ 友達と助言をし合い、阿賀のまちの未来を伝えるプレゼンテーションをよりよいものにしようとしている。 | ◎ 提案内容が明確に伝わるように、事実と感想、意見とを区別したり、必要な文言や数値などを引用、図解したりするなど構成を工夫し、場に応じた適切な話し方で話している。(イ)   | ○ プレゼンテーションのスライドを作るという目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながらかんたんに読む。(ウ) | ○ 聞き手に分かりやすいプレゼンテーションの構成について理解している。(イ(キ)) |

3 単元の計画 (全11時間)

| 次   | 時           | 学 習 内 容  | 評 価     |  |
|-----|-------------|--|---------|--|
|     |             |  | 関 話 読 言 | ○教科の評価規準 (評価方法)<br>★資質・能力の評価規準 (評価方法)  |
| 単元前 |             | (総合的な学習の時間)<br><b>課題の設定 (総)</b><br>・ AGA in (まちづくり若者提案事業)のメンバーと協働して行う「盛りあが(阿賀)ろうイベント」の中で、自分たちの考える未来のまちについて提案することを決定する。   |         | 去年のまちづくりのイベントに参加された方のアンケートによると、イベントの目的を理解している人が少なかったよね。<br>「ぼくたちがなぜこのイベントをするのか」という目的をしっかりと伝えなきゃいけないな。<br>そのためには、「わたしたちが未来のまちをどんなまちにしたいか」という考えをしっかりとたないといけないね。                                |
| 1   | 1           | <b>課題の設定 (国)</b><br>・ プレゼンテーションの具体例から、学習のゴールの姿のイメージをもつ。<br><b>情報の収集</b> 教材文から<br><b>整理・分析 1</b><br>・ まちづくりの考え方を学ぶという目的意識をもって教材文を読む。<br>・ 筆者の叙述を文章の構成に沿って整理し、「町の幸福論」でプレゼンテーションのスライドを作る。 | ○       | ○ 自分たちの考える未来のまちについてプレゼンテーションをすることに意欲をもっている。(ノート・児童観察)<br>◎ プレゼンテーションのスライドを作るという目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨や文章構成を捉え、自分の考えを明確にしながらかん読している。(ホワイトボード・児童観察)<br>○ 文章の構成について理解している。(ホワイトボード・児童観察)        |
|     | 2<br>3<br>4 | ◎ 「町の幸福論」を基に、イベントの目的と「未来のまちの姿」のつながりについて話し合い、明確にする。   |         |  |
| 2   | 5<br>6      | <b>整理・分析 2</b><br>・ 自分たちが考えたまちづくりについてプレゼンテーション資料(発表の流れ部分)を作成する。【本時】  | ○       | ○ 未来のまちについての考えやイベントの目的が明確に伝わるように、提案とのつながりを意識してプレゼンテーションの構成を工夫している。(ホワイトボード・ノート・児童観察)<br>★ 異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりして課題を解決している。【協働する力】(振り返り・児童観察)                           |
|     | 7<br>8      | <b>まとめ・創造・表現</b><br>・ 発表原稿を書く。<br>・ プレゼンテーション資料を基に発表練習を行う。   | ○       | ○ 提案内容が明確に伝わるように、事実と感想、意見とを区別したり、必要な文言や数値などを引用、図解したりするなど構成を工夫して発表原稿を書いている。(発表原稿)<br>◎ 提案内容がより明確に伝わるように、構成を工夫し、資料や発表原稿を修正している。(発表原稿・資料)<br>○ 友達と助言をし合い、プレゼンテーションをよりよいものにしてしようとしている。(ノート・児童観察) |
|     | 9           | <b>整理・分析 3</b><br>・ 資料や発表原稿の修正を行う。   | ○ ◎     |  |
| 3   | 10          | <b>実行</b><br>・ 「盛りあが(阿賀)ろうイベント」において自分たちの考える未来のまちについて発信する。  | ○       | ○ 提案内容がより明確に伝わるように、修正点を生かして、構成や話し方、資料の活用の仕方を工夫して話している。(ビデオ・児童観察)   |
|     | 11          | <b>振り返り</b><br>・ 「原っ子マイスターカード」の「協働する力」「郷土愛」の視点により振り返りを書く。  | ○       | ○ 阿賀のまちの未来を伝えるプレゼンテーションについて振り返り、自分の考えを書いている。(振り返り)<br>★ 友達と助言をし合ったことで、プレゼンテーションがよりよいものになったと感じている。【協働する力】(振り返り)<br>★ 阿賀の地域社会の一員として、貢献を意識して、まちづくりを成功させるために活動している。【郷土愛】(振り返り)                   |
| 単元後 |             | (総合的な学習の時間)<br>・ 「自分再発見」において、未来の自分について考える。   |         | 将来自分はどんな生き方をしていきたいだろう。<br>自分の夢を実現したい。  |

4 本時の展開 (本時 6/11)

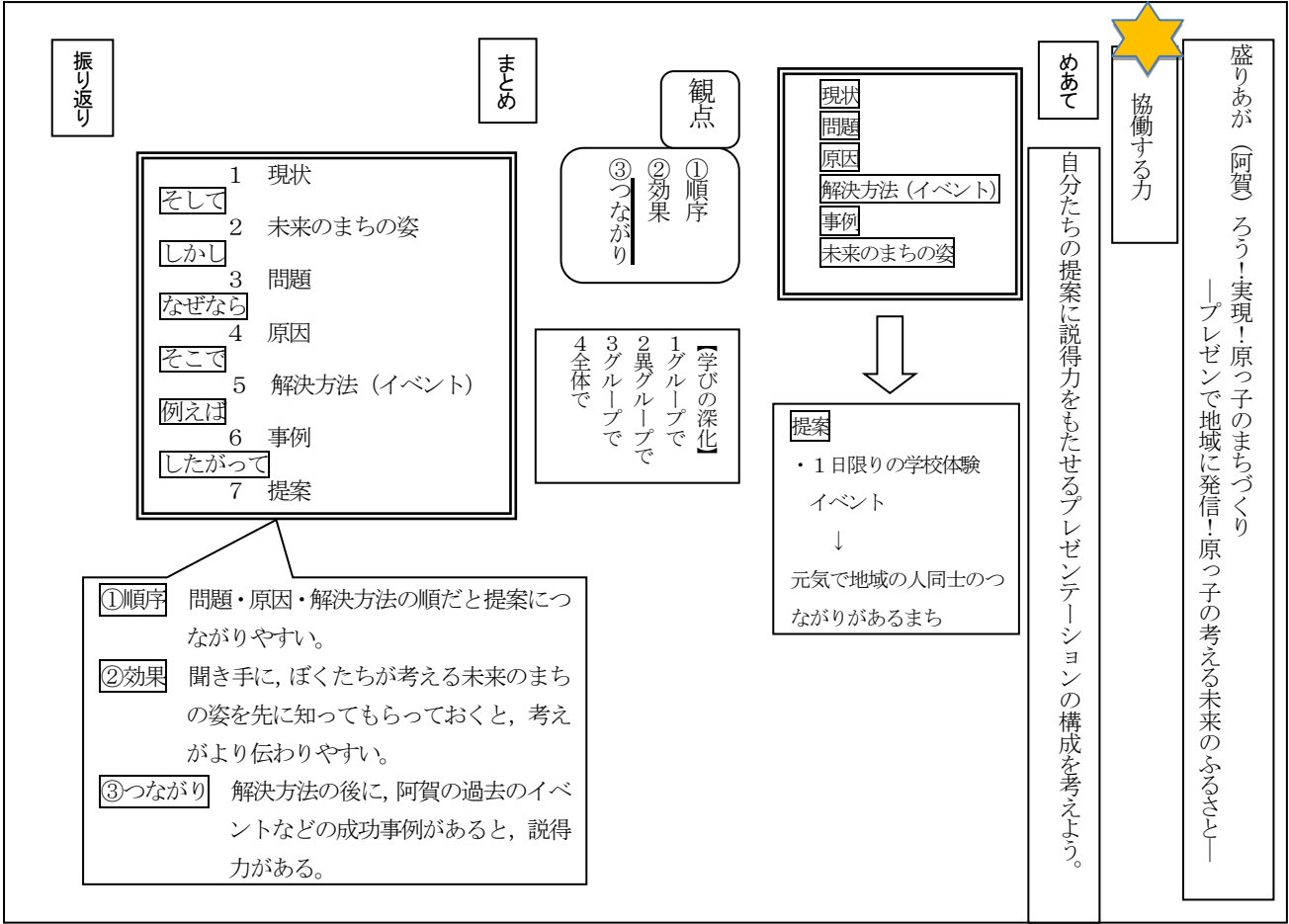
(1) 本時の目標

- ★ 異なる意見や他者の考えを受け入れながら、課題を解決するために話し合うことができる。  
【資質・能力/協働する力】
- 未来のまちについての考えやイベントの目的が明確に伝わるように、プレゼンテーションの構成を工夫することができる。  
【国語科/話すこと・聞くことイ】

(2) 本時の展開

|       | 学習活動   | ◇指導上の留意点<br>◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て  | 評価規準 (評価方法)<br>○教科の指導事項<br>★資質・能力  |
|-------|--|--|--|
| 課題の設定 | 1 本時のめあてを確認する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時にグループで考えたプレゼンテーションの構成案を練り合い、学級で一本の発表にするという見通しをもたせる。</li> </ul>  |  |
|       | 自分たちの提案に説得力をもたせるプレゼンテーションの構成を工夫しよう。  |  |  |
| 情報の収集 | 2 プレゼンテーション資料の構成を考える。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 短冊 (スライドの項目) を並べて、順序を入れ換えさせたり、接続詞を補いながら説明させたりして、観点を基に、より説得力のある構成に工夫していくようにする。</li> <li>◇ 前時に、グループで考えた構成について確認させ、説明の練習をさせる。</li> </ul>   | <p>自分たちの考えが地域の人に納得してもらえるようにしたいな。</p> <p>「だから」「しかし」・・・どれを入れると合うかな。</p>                |
| 整理・分析 | (1) グループで確認する。<br><br>スライドの項目 (提案)<br>現状・問題・原因・解決方法・事例・未来のまちの姿   | 観点 ①順序 ②効果 ③つながり   | <p>解決方法の前に、成功した事例を入れると効果的だね。</p>   |
|       | (2) 異グループで交流する。<br>(3) グループで修正する。<br>(4) 全体で交流し、構成をよりよいものにまとめる。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ これまで学習した「説得力のある文章の書き方」や「接続詞の分類表」を参考にさせる。</li> <li>◇ お互いの説明を聞き、上記の観点で話し合わせる。</li> <li>◇ 他のグループの意見を受けて、グループで再度検討をさせる。</li> <li>◇ 共通点や相違点、始めの構成案からの変化について説明させ、収束のための話し合いになるようにする。</li> </ul> | <p>聞く人にとっては、説得力のあるつながりになっているかな。</p> <p>この部分は、つながりがよくないと言われたよ。順番を入れ替えようか。</p>         |
| まとめ   | 3 本時のまとめをする。<br>【まとめの例】  | ◇ 全体交流を基に、完成したプレゼンテーションの構成のよさについて書かせる。   | ○ 未来のまちについての考えやイベントの目的が明確に伝わるように、提案とのつながりを意識してプレゼンテーションの構成を工夫している。(ホワイトボード・ノート・児童観察) |
| 振り返り  | 1 現状<br>①だから<br>2 未来のまちの姿<br>②しかし<br>3 問題<br>③なぜなら<br>4 原因<br>④そこで<br>5 解決方法 (イベント)<br>⑤例えば<br>6 事例<br>⑥したがって<br>7 提案  | ①順序 問題・原因・解決方法の順だと提案につながりやすい。<br>②効果 聞き手に、ぼくたちが考える未来のまちの姿を先に知ってもらっておくと、考えがより伝わりやすい。<br>③つながり 解決方法の後に、阿賀の過去のイベントなどの成功事例があると、説得力がある。   |  |
|       | 4 本時を振り返り、次時につなげる。<br>【振り返りの例】   | ◇ 単元のゴールとつなげて「見通し」「協働する力」の視点で振り返らせる。   | ★ 異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりして課題を解決している。(振り返り・児童観察)                  |
|       | 他の班の考えは自分たちの班とは違ったけれど、提案までのつながりがよくなり、納得できました。自分たちの考えは、順序を入れ換えるとつながりがよくなることをアドバイスしてもらってよかったです。友達と協働することでクラスでより説得力のある構成を考えられました。これから、プレゼンテーションに入れる説得力のある資料を考えたいです。 |  |  |

## 5 板書計画



## 6 資質・能力ルーブリック

| 協働する力 | 判断基準   |
|-------|--|
| A     | 異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を適切に伝えたり、相手の意見のよさを理解した上で受け入れたりして課題を解決している。 |
| B     | 異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりして課題を解決している。             |
| C     | 異なる意見や他者の考えを尊重していない。   |